

みずほCustomer Desk Report 2017/11/15 号(As of 2017/11/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.66 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.61	1.1665	132.52	0.9966	1.3120	0.7615
SYD-NY High	113.91	1.1805	133.86	0.9971	1.3185	0.7650
SYD-NY Low	113.32	1.1662	132.49	0.9882	1.3075	0.7609
NY 5:00 PM	113.45	1.1798	133.86	0.9896	1.3166	0.7632
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.04/8.39		△25RR	0.818	Yen Call Over	

NY DOW	23,409.47	▲ 30.23	債券市場	日本2年債	-0.1830	▲1.8bp
NASDAQ	6,737.87	▲ 19.72		日本10年債	0.0500	-
S&P	2,578.87	▲ 5.97		米国2年債	1.6872	0.6bp
日経平均	22,380.01	▲ 0.98		米国5年債	2.0582	▲1.7bp
TOPIX	1,778.87	▲ 4.62		米国10年債	2.3717	▲3.4bp
シカゴ日経先物	22,315.00	▲60.00		独10年債	0.3970	▲2.0bp
ロンドンFT	7,414.42	▲0.76	為替市況	英10年債	1.3210	▲0.7bp
DAX	13,033.48	▲40.94		豪10年債	2.6580	3.5bp
ハンセン指数	29,152.12	▲ 30.06		USD/CNH	6.6367	▲ 0.0204
上海総合	3,429.55	▲ 18.29	商品市況	ドルインデックス	93.81	▲0.68
USDJPY 3M Vol	8.24	▲0.02%		CRB指数	189.057	▲2.39
USDJPY 6M Vol	8.80	▲0.04%		NY金	1,280.30	1.40
EURJPY 3M Vol	7.68	0.07%		WTI	55.00	▲1.76
EURJPY 6M Vol	8.68	0.05%		Dubai Spot	61.27	▲0.31

東京	足許やや材料難な雰囲気漂う中で前日からドル円は方向感に欠ける推移が続く。東京時間のドル円は113.61レベルでオープン。日経平均株価が前営業日よりマイナス圏で寄り付くも、すぐにプラス圏まで反発するとドル円も小幅に上昇し、東京時間高値となる113.73まで上昇。その後、日経平均株価がプラス圏での推移を続け、米金利も小幅上昇する展開となるもドル円は上値重く推移。海外時間に主要中央銀行総裁によるパネルディスカッションを控えていることもあり、終始様子見ムードが支配的となりドル円の値幅は限定的。ドル円は113.63レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.63レベルでオープン。大手邦銀の自己株取得決議を好感し、日経平均先物が上昇すると、ドル円もこの日の高値となる113.91まで買われる。一服後は、黒田日銀総裁がインフレ期待について楽観的な見方を示したこと等が意識されてか、円買いの優勢となり113円台半ばまで反落。結局113.55レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3110レベルでオープン。10月の英CPIは、前年比+3.0%と予想(+3.1%)を下回る。今月の英中銀インフレ報告で、10月のCPIが今年のピークと発表されていたため注目が集まっていたが、上昇率は9月から横ばいで英中銀予想の3.2%にも届かず、ポンドドルは一時1.30台後半まで急落。その後はややレベルを戻し結局1.3106レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、欧州序盤に113.91まで上昇したが、ほどなく失速し113.55レベルでNYオープン。朝方発表された米10月PPIは、ヘッドライン・コア共に予想を大幅に上回る結果となったことから、米金利の上昇と共にドル円は113.60まで上昇したが、米10年債利回りの2.40%台の滞空時間は短く、米金利の低下と共にドル円も反落。海外株の流れを引き継ぎ安値寄りしたNYダウが、IEAによる今年・来年の石油需要見通し下方修正を受けた原油相場下落やS&P500種先物急落を背景に、一段と下げ幅を拡大したことから、ドル円はこの日の安値となる113.32まで下落。その後、原油・米株共に切り替えたことを背景にドル円は下げ止まり113.57まで反発するも、朝方の高値113.60は回復できず113.40付近で方向感なく推移し、結局113.45レベルでクローズ。この日は、一部通信社が関係者の話として「ホワイトハウス、モハメド・エリアン氏をFRB副議長に指名することを検討」と報道されたほか、米下院議事運営委員会が税制法案審議を東部時間午後6時半に前倒しすることが発表された。なお、下院本議会の採決は16日の予定。一方ユーロドルは1.1747レベルでNYオープン。海外時間に発表された独第3四半期GDPの良好な結果をきっかけとしたユーロ買いの流れを引き継ぎ、軟調なドル相場も相俟って、ユーロドルはほぼ一本調子で上昇。テクニカルなポイントを突破し、ショートカバーを巻き込みながら、先月26日のECB理事会以来となる1.18台を再現し、高値1.1805まで上昇。しかし、すぐに1.18台を割り込み、その後は1.1790付近で小動きに終始し、1.1798レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:岡本・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月14日	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	10月 10.3%/7.3%/6.7%	10.4%/7.3%/6.7%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	10月 0.0%/1.6%	0.0%/1.6%
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	10月 0.1%/3.0%	0.2%/3.1%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.6%/3.3%	-0.6%/3.2%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	第3Q 0.6%/2.5%	0.6%/2.5%
	19:00	欧 ECBパネル討論会(イエレンFRB議長、ドラギECB総裁等)	-	-
	22:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	10月 0.4%/2.8%	0.1%/2.4%

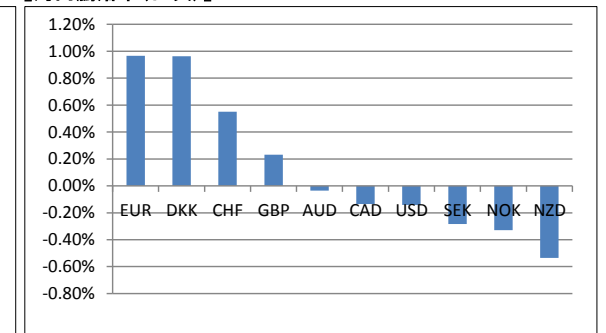
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月15日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	第3Q 0.4%/1.5%	0.6%/2.5%
	17:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	9月 4.3%	4.3%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	10月 0.1%/2.0%	0.5%/2.2%
	22:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	10月 0.2%/1.7%	0.1%/1.7%
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	10月 0.0%	1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.1750-1.1850	133.00-134.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、アジア時間に日本株が比較的底堅く推移したこと等を背景にロンドン時間オープンでフロー主導でドル円は上昇するも、その後は特段材料のない中、上昇前の水準まで戻す展開。また注目されたイエレンFRB議長、ドラギECB総裁、カーニーBOE総裁、黒田日銀総裁のパネルディスカッションについては予想通り目立った発言などはなかった。米国時間では、米10月生産者物価指数が市場予想を上回るも市場の反応は限定的となる中、株が軟調に推移したことや金利が低下したこと等を背景に、ドル円は下落しそのままクローズ。